

小田原東高校
普通科・専門学科併置校
設置計画

平成28年10月
神奈川県教育委員会

1 対象校・位置・実施年度

- (1) 対象校 小田原総合ビジネス高等学校
(2) 位置 小田原総合ビジネス高等学校敷地(小田原市東町4-12-1)
(3) 実施年度 平成29年度

2 設置の目的

社会や経済のグローバル化や情報化の進展等を踏まえた先進的な商業教育を展開する商業に関する学科(総合ビジネス科)と、普通教育を展開する学科(普通科)を併置する高校として設置する。

グローバル社会で活躍できる将来のリーダーやスペシャリスト、また、観光など地域産業に根ざしたビジネスの担い手となる発想力・創造力豊かな人材の育成を図る。

3 基本的コンセプト

学年制による全日制普通科と専門学科とを併置する県立高校として教育を展開する。

普通科としての学習の取組みと教育の展開

併置校の特性をいかして、共通教科・科目による教育課程を編成し、グローバル社会で活躍できる将来のリーダーの育成に向け主体的に学び、考え、行動することができる普通教育を展開する。

総合ビジネス科としての学習の取組みと教育の展開

ビジネスの基礎的な知識と技能を学習するとともに、グローバル社会で活躍できる将来のスペシャリストの育成に向け、専門分野を深化する系を設定し、個々の興味・関心や進路希望に対応したビジネス教育を展開する。

学科併置の特色をいかした教育活動の展開

これまでの総合ビジネス科の教育内容を充実、発展させるとともに、新たに設置する普通科が商業科目を履修できるよう教育課程を編成し、普通科における職業教育の充実を図る。

地域活性化に向けたプロジェクト学習の展開

県西地域の観光産業等の活性化に向けた、プロジェクト学習を展開し、地域の活性化につながる観光ビジネスの担い手となる発想力・創造力の育成を図る。

豊かな人間性を育成するための特別活動等の活性化の充実

地域連携活動や教科学習活動、学校行事及び部活動等を積極的に展開し、人間性豊かで人間関係構築能力に優れた人材を育成する。

4 設置形態

- (1) 課程 全日制の課程
(2) 学科 普通科
総合ビジネス科(商業に関する学科)
(3) 学校規模 全日制の課程 720名(18学級規模程度)
普通科 360名(各学年120名 3学級規模程度)
総合ビジネス科 360名(各学年120名 3学級規模程度)
学級規模は予定であり、入学定員の発表時に確定
(4) 修業年限 3年
(5) 学期 3学期制
(6) 履修形態 学科ごとの科目履修及び選択科目の科目選択
(7) 授業展開 55分6限を基本とし、必要に応じて弾力的な授業時間を設定
<日課表> (予定)

	(月) ~ (金)
ショートホームルーム	8:40 ~ 8:50
1 校 時	8:50 ~ 9:45
2 校 時	9:55 ~ 10:50
3 校 時	11:00 ~ 11:55
昼 休 み	11:55 ~ 12:40
4 校 時	12:40 ~ 13:35
5 校 時	13:45 ~ 14:40
6 校 時	14:50 ~ 15:45
ショートホームルーム	15:45 ~ 15:50

5 入学者選抜

- (1) 募集の区分 一般募集(中学校卒業見込み者及び中学校既卒業者)
(2) 選抜の区分 共通選抜
(3) 選考の方法 事前に公表した「公立高等学校入学者選抜選考基準」に基づいて、選考する。

6 教育課程

- (1) 基本的方針
高等学校在籍3年以上で、必履修科目を履修し、高等学校学習指導要領に基づいて学校において定めた卒業までに修得させる単位数を修得することで卒業とする。

総合ビジネス科において、専門教育に関する教科・科目の履修については、25単位を下らないこととする。

(2) 教育展開の方針

普通科と総合ビジネス科の併置の特色をいかした相互の科目を履修できる教育を展開するとともに、地域の特性を活用した県立高校生学習活動コンソーシアムによる教育を展開する。

学習意欲の高い生徒の更なる学力向上をめざし、「伸びる生徒を伸ばす工夫」を考え、総合ビジネス科にアドバンスクラスを設置する。普通科においても進路希望状況等に応じてアドバンスクラスを設置する。

総合ビジネス科において、基礎・基本を学んだうえで、いくつかの分野においてより専門的な内容が深められるよう、系を設置するとともに、進学する生徒にも対応できるよう多様な選択科目を設置する。

本校敷地内の常設店舗を展開し、授業の実践の場として販売実習を行う。

(3) 編成の方針

一人ひとりの進路希望や興味・関心等に応じて設定した課題について、知識や技能の深化・総合化を図る総合的な学習の時間、課題研究等を設定する。

普通科において、集中講座など、柔軟な履修形態による職業教育を展開する。

総合ビジネス科において、共通履修科目、系の専門科目、系を超えた選択科目で構成する。

県立高校生学習活動コンソーシアムの活用など、学校外での学習効果による単位認定を行う。

(4) 教育課程表 (予定)

普通科

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
1 学年		国語総合			世界史 A		数学		数学 A		化学基礎		生物基礎		体育		保健		音楽 /美術 /書道		コミュニケーション 英語		英語表現		社会と 情報		総合的な 学習の時間		L H R		
	文系	現代文 B			古典 B		日本史 A		数学		物理基礎		体育		保健		コミュニケーション 英語		英語表現		家庭 基礎		必修選択		総合的な 学習の時間		L H R				
2 学年	理系	現代文 B	日本史 A		数学		数学 B		物理基礎		化学		体育		保健		コミュニケーション 英語		英語表現		家庭 基礎		必修選択		総合的な 学習の時間		L H R				
	文系	現代文 B		古典 B	現代 社会		日本史 B /世界史 B					体育		コミュニケーション 英語		英語表現		選択		選択		総合的な 学習の時間		L H R							
3 学年	理系	現代文 B	現代 社会		数学			物理 /生物		化学		体育		コミュニケーション 英語		英語表現		選択		選択		総合的な 学習の時間		L H R							
	文系	現代文 B	現代 社会		数学	数学 研究		物理 /生物		化学		体育		コミュニケーション 英語		英語表現		選択		選択		総合的な 学習の時間		L H R							

2 学年必修選択

		26	27	28
2 学年		古典 A (理系) /数学 B (文系) /現代英語 /英語発展 /ビジネス基礎 /マーケティング /簿記 /情報処理		
	理系	古典 A (理系) /数学 B (文系) /現代英語 /英語発展 /ビジネス基礎 /マーケティング /簿記 /情報処理		

3 学年必修選択

		24	25	26	27	28
3 学年		選択			選択	
	文系	国語表現 /地理 B /郷土史かながわ /数学発展 /化学基礎発展 /異文化研究 /フードデザイン /マーケティング /ビジネス経済 /ビジネス経済応用 /経済活動と法 /財務会計 /ビジネス情報			現代社会発展 (理系) /物理発展 (理系) /化学発展 (理系) /生物基礎発展 /生物発展 (理系) /英語会話 /英語実践 /子どもの発達と保育 /西さがみの観光ビジネス	
	理系	/			現代社会発展 (理系) /物理発展 (理系) /化学発展 (理系) /生物基礎発展 /生物発展 (理系) /英語会話 /英語実践 /子どもの発達と保育 /西さがみの観光ビジネス	

総合ビジネス科

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
1 学年		国語総合		世界史 A	数学		科学と 人間生活		体育		保健	音楽 /美術 /書道	コミュニケーション 英語		ビジネス 基礎		簿記			情報処理			総合的な 学習の 時間		L H R						
2 学年	会計 ビジネス 系	現代文 B	日本史 A	数学A	体育	保健	コミュニケーション 英語	家庭 基礎	マーケティング	ビジネス実務	財務会計			原価計算			L H R														
	情報 ビジネス 系										ビジネス情報			プログラミング																	
3 学年	会計 ビジネス 系	現代文B	現代 社会	政治・ 経済	生物 基礎	体育	コミュニケーション 英語	進路 選択	商業選択	西さが みの観 光ビジ ネス	課題 研究	財務会計		コンピ ュータ 会 計		L H R															
	情報 ビジネス 系											ビジネス情報 管理		電子商取引																	

3 学年必修選択

	15	16	17	18	19
	進路選択		商業選択		
会計 ビ ジ ネ ス 系	国語表現 /古典A /数学実践 /英語実践 /教養基礎 /サ ビ ス 実 務		財務会計（情報ビ ジ ネ ス 系） /管理会計（会計ビ ジ ネ ス 系） /コンピ ュー タ 会 計（情報ビ ジ ネ ス 系） /ビ ジ ネ ス 情 報（会計ビ ジ ネ ス 系） /電子商取引（会計ビ ジ ネ ス 系） /経済活動と法 /ビ ジ ネ ス 経 済 /ビ ジ ネ ス 経 済 応 用		
情報 ビ ジ ネ ス 系					

（ 囲いの数字は単位数 ）
教育課程表は予定であり、変更することがある。

普通科と総合ビジネス科の併置の特色をいかした選択科目について

普通科・総合ビジネス科の併置の特色をいかし、普通科における職業教育の充実を図るとともに、総合ビジネス科における個々の進路希望に対応した共通教科・科目の選択を可能とする教育課程を編成するため、以下のような科目を設置する。

<主な科目>

簿記

... 企業における取引の記録・計算・整理などの基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、実践的な能力と態度を身に付けさせる。

ビジネス情報

... 表計算ソフトウェアを利用したビジネス情報システムの開発について理解させる。また、コンピュータを活用して業務を合理化、自動化するなど、実習を中心に体験的学習を重視し、より効率的なプログラムが作成できるようにするとともに、生徒の創造力や論理的な思考力を育てる。

西さがみの観光ビジネス

... 観光の意義と役割および知識を理解させ、観光ビジネスで活躍できる能力と態度を身に付けさせる。西さがみの観光ビジネスに関する諸問題を解決する能力を身に付けさせ、その実践と情報発信の技能と態度を培う。

(5) 学習指導の工夫

知識の質や量の改善とともに、学びの質や深まりを重視し、課題の発見と解決に向けて主体的・協働的に学ぶ学習や、そのための指導の方法等を充実させる取組みを図る。

自らの進路希望や学習目的に基づいて、主体的に学習を進めることができるよう、また、基本的な内容から発展的な内容を含め、生徒一人ひとりの個性と能力の伸長を図ることができるよう指導する。

専門科目の展開では、実技・実習などの学習活動を充実させるとともに、少人数学習や各自の学習ニーズに応じた個別指導が実施できるよう配慮する。

(6) 生徒指導等の工夫

特別活動（ホームルーム活動、生徒会活動、学校行事等）や部活動等の集団活動により、さまざまな個性を相互に尊重し、より良い人間関係の構築と自立をめざす。

生徒の状況を的確に把握し、さまざまな課題を抱える生徒に対して、一人ひとりに応じた適切な配慮や支援を、学校全体で行う体制を整える。

教師と生徒との信頼関係及び生徒相互の好ましい人間関係を育てるとともに生徒理解を深める。

(7) 進路指導の工夫

生徒が自己のあり方、生き方を考え、主体的に進路を選択することができるよう、学校の教育活動全体を通じてキャリア教育を推進するとともに、生徒一人ひとりの進路目標の実現を図るため、計画的・組織的な進路指導を行う。

教育課程や学習指導と一体化したきめ細かい指導や進路希望に対応したガイダンスの機能の充実を図るなど支援体制を確立する。

(8) 学校経営

学校教育計画に基づき、学校評価や第三者評価の報告をいかすなどして、一層充実した自律的・組織的な学校経営に取り組む。

7 施設・設備の整備

普通科及び総合ビジネス科の教育の展開に必要な施設設備の整備を行う。

8 その他

普通科及び総合ビジネス科の教育の展開に必要な職員の配置を行う。



神奈川県

教育委員会教育局指導部高校教育課
高校教育企画室高校教育企画グループ 電話(045)210-8254(直通)
横浜市中区日本大通 33 〒231-8509 FAX(045)210-8922
電話(045)210-1111(代表) 内線 8255・8256